

佐野町つながり隊 レポート

5/12 (日) SDGs エコバッグ

2024年5月14日(火)北國新聞掲載

以前から興味があったエコバッグ作り。新聞紙1枚で素敵なバッグに変身、それに小物入れも習い大満足でした。誰かが「新ジャガが出来たらこのバッグに入れてあげる」と言ってたけど、ナイロン袋の代わりにいろいろと重宝しそう。今日は参加出来て本当によかったです。お世話頂いた皆様ありがとうございました。(参加者Aさん)

2個絵変わりでできました。楽しい!大きい袋も作ってみようと思います。お世話ありがとうございました。(参加者Bさん)

人数も丁度よく、説明も分かり、楽しく作ることができました。よかったです。ありがとうございました。(参加者Cさん)

とても分かりやすい説明と便利グッズ(方眼紙)で迷わず楽しくバッグを作ることができました。家でも作りたいです。遅れてきてすみません。ありがとうございました。(参加者Dさん)

不器用な私は極力手作業を避けていますが、今回は身近な方々が講師でしたので参加いたしました。身に付く講座で楽しかったです。(参加者Eさん)



新聞社後援は12日、佐野公民館で行われ、住民12人が北國新聞のラッピング紙面を使った色鮮やかなエコバッグを仕上げた。JA能美寺井支店女性部が1月に実施した新聞バッグ作りに参加した小竹幸子さん(80)と伊井二六子さん(82)が講師を務めた。参加者は丸谷焼や北陸新幹線が載った紙面を丁寧に畳んで折り付け、持ち手を取り付けてバッグを完成させた。災害時にトイレに使える小物入れも作った。北國新聞本寺井販売所が協力した。



楽しく学ぶことができました。以前から知りたと思っていました。(参加者Fさん)

優しく教えてくださって楽しかったです。(参加者Gさん)

楽しかったし、仲良く作れてよかったです。ありがとうございました。(参加者Hさん)

ワイワイガヤガヤとても楽しい時間をすごせました。(参加者Iさん)

新聞などで紹介されていたので、興味を持って参加させてもらいました。簡単に作れ、また防災時の活用もできる物で楽しく作らせてもらいました。お世話ありがとうございました。(参加者Jさん)

楽しく出来ました。ありがとうございます。(参加者Kさん)



災害時にトイレとして使える小物入れを作成した関係で、つながり隊メンバーで防災士でもある樋口隊長より、右の資料を使って災害時を想定したアドバイスがありました。

災害時を想定したマイタイムライン



講師の小竹さん・伊井さん・参加者の皆さんでエコバッグを手にハイチーズ



皆様、ご参加ありがとうございました。